

1 本年度の学校評価をふりかえって

昨年度同様保護者アンケート回収率94.4%（昨年度94.3%）と高く、保護者と協力して教育活動を行うことができる環境にあることを実感した。アンケートの結果や自由記述、学校関係者からのご助言等により、次年度に取り組むべき課題が明確になった。

2 評価結果の概要

分野	評価項目	取組状況と成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価の意見
教育課程・学習指導	移行期間の教育課程編成年間教育計画の実施	・校報等で数値を挙げ、具体的に説明した結果、昨年度に比べて、「よく分かる」と答えた保護者が増えた。理解された方針が保護者に伝わっている。	A	・「あまり分らない」と答えている保護者層（昨年度とほぼ同じ割合）へ、この後のPTA（全体会）で繰り返し説明する。	・教育課程の内容はよく分からないが具体的に継続的に指導している様子が見られる。 ・現状に満足せず努力してほしい。
	「学びの十か条」の具現化	・家庭学習については、職員・保護者・児童の3者では、意識のずれが若干見られる。昨年度に比べて保護者の評価が低くなっている。意識の低下によるものか、自己評価が厳しくなっているのか、知る必要がある。また、言葉遣いについては、自由記述でも取り上げられており、保護者同士の話合いが必要だと感じた。	B	・この後のPTA（全体会）で話題にするとともに、学級懇談では、プリントを配布して具体的に説明したり話し合いの場を設定したりする。	・きまりやルールを守るとのことについて、もっと指導が必要である。 ・中身を理解させる工夫をお願いしたい。
	分かる授業づくり	・3者とも90%を超え、力を付けていることと高い満足感がうかがえる。	A	・今後、さらに、子どもたちの学習意欲を高める課題提示の工夫や、一人一人の力を伸ばす授業づくりに努めていく。	・理解の割合が高いのは教師の努力による。 ・教師集団の向上しようとする「力」「エネルギー」を感じる。 ・学習することの意義についても教えながら、指導してほしい。
	家庭学習の習慣化、質的向上	・実施率はほぼ100%。手引きの配布、好例の紹介などで、質的向上を意識づけた。 ・教師の意図的な指導や励ましを受け、質的向上を図っている子どもが多い。一方、家庭でのかわりを見るとき、学年が上がると、子どもにも任せきりになり、内容を確認したり、取組を励ましていたりすることが減っていることがうかがえる。	A	・家庭学習の手引きを活用して指導を継続する。また、学年通信や掲示物などで、取組を紹介し合ったり、PTA等で話題として取り上げたりすることで、保護者が家庭学習の意義や内容の工夫について理解を深める機会としていく。	・家庭学習はよくやられている。 ・学校からの宿題プリントは枚数が多くても進んでやる。週に1～2度は、国算社理の文章問題プリントを出してもらいたい。
生徒指導	教育相談の実施	・長期休み前の個人面談、休み時間や給食時間のふれあいの時間を大切に行っていることや、突発的な子どもに適切に対応して数値に表れている。	A	・子どもたちがいつでも相談できるように、学年部会や生徒指導部会を中心に「心のアンテナ」を高くして接していける体制づくりに努める。	・学校は相談しやすい雰囲気である。 ・学校内でのトラブルもなくネット上のトラブルもなくなっているが、何もないわけではないので注意して見守ってほしい。 ・計画的に、現状に合

					わせて対応してほしい。
	情報モラル教育の充実	<p>・PTA総会での携帯電 話使用し協力して携 ル教室(5・6年対象)方 道徳での情報モラル針 モラル長期休業直前 報た。(H21.11.11.1 12現在の調査)4～ 6年の携帯電話所持率 は12.9%(市12.3%) 3%)でありルールを 決めて守っている子ど もは81.2%(市78.5%) である。4～6年生の 家庭でのインターネット 使用率は66%であり、 ルを決めて守っている 子どもは63%(県小中 46.7%)であった。携 帯電話や携帯の約束事 は、高い数値で守ら れている。</p>	A	<p>・道徳的な規範意識 が基本の時間を中心 とした学習を要するも に専門的な知識もあ る。今年度は毎年 講習会を実施す る。</p>	<p>・ネットトラブルや学 校内の情報漏れなど に注意してほしい。</p>
家庭・地域との連携	校報や各種たよりの発行	<p>・評価が90%を超え ていて「目を通す 超えている」も90% 超えているから心 を学校から通信に かかっていること がわかる。</p>	A	<p>・このあとも定期的 に発行し、子ども の活動の様子や情 報を積極的に提 供していく。</p>	<p>・地域にとって校報 は、学校の動きが 分かる唯一の手段 である。子どもた ちの姿や声が分 かるようにいろ んな情報を載 せてほしい。 ・字の大きさが 工夫されて、 読みやすくな っている。</p>
	学校ホームページの更新	<p>・更新計画を作成 した。年間アクセス 数(3月18日現在) は6648件。 ・保護者からの記 述による回答から ホームページの充 実を求めた。</p>	B	<p>・定期的な更新を 目指し、年度当初 の計画に従い、学 年への声掛けな どをしていく。</p>	<p>・個人情報保護の 問題もあると思う が、動画配信が できないだろう か。 ・内容が固すぎる 。子どもたちの コーナーがも っとあればよい。</p>
	地域貢献活動の充実	<p>・地域清掃や風の 謝週間実施した。 たに四ツ小屋ま 吹奏楽部が参加 ・教職員と保護者 ・児童の回答に 護者や児童に思 貢献した児童に している意識が 教師例は「だ の通り」が90% という程度で の弱さが見 られる。</p>	A	<p>・児童や保護者の 意図は高い ・交流の意識は 今後総合的 な学習の時間 に地域と交 流し、特別活 動や清掃、あ り行事を 地域集まり たりするこ とを 継続して いく。</p>	<p>・充実している。 このまま継続 してほしい。 ・吹奏楽、スポ ーツ少年団と も四ツ小屋小 をアピールし 、感動を与 えている。 ・地域の行事 に子どもたち を参加させ たい。 ・地域の人 たちを学校 に呼ぶだけ でなく、学 校から外に 発信し、地 域に活力を 与えてほ しい。 ・地域でも 協力してい きたい。学 校・地域一 緒にがんば ろう。</p>
生き方	体力・運動能力の向上	<p>・走ろう運動な どを継続する が、子どもた ちの意欲が 低下している ことの結果 として、保護 者の協力も 必要である。</p>	B	<p>・高学年にな るにつれて、 休み時間等 に運動する 傾向がある ので、指導 を充実させ る。</p>	<p>・一年間計画的 に実行してい る。 ・集団での遊 びの楽しさ を味わって ほしい。 ・順位を決 めるスポ ーツ(持久走 大会等)だ</p>

指導		・新体力テストの結果から各学年とも50mが走が課題であることが分かった。			けでなくドッジボールやなわとびリレー、2学年合同リレーなどはどうか。 ・運動能力の低下が心配されるので、体力づくりに取り組んでほしい。
	健康教育の充実	・体温計や応急セットの学級備え付け等により、保健室利用者数前年度比12%減少した。 ・新型インフルエンザの流行もあり、健康の保持や病気の予防に対する関心・意欲が高まり、3者ともに評価高かった。	B	・かぜ予防に加え、指給食指導、歯磨き指導などの時間も確保して継続的に指導していく。	・自分の身は自分で守る教育をしてほしい。
	読書活動の充実	・朝読書は好きである。家での読書や図書館利用は低い傾向にある。また、子どもが読書よりも親の読書が評価より低い。	B	・夏休み親子読書の取り組みなど、家庭での読書をすすめる手立てを学年に応じて指導していく。	・読書タイムはよいことである。 ・読書離れの現在、粘り強く指導してほしい。 ・学校図書館は本が少なく読みたい本がないといている。
教育環境	校内外環境整備の推進	・3者共に評価が高くて、90%を超えた。ただ、高学年児童からは、「カーテンを替えてほしい」「新しい本を増やしてほしい」「コンピュータ室を休み時間に使いたい」「遊具を増やしてほしい」等の具体的な要望が挙げられた。また、保護者からは、トイレや校内の汚れについての記述が寄せられた。	A	・児童からの要望に検討し、回答する。また、トイレの老朽化しているところから改善できない旨説明すると共に、使いたいについては今後も継続して指導していく。校内清掃については、無言清掃を継続するなど、今後も工夫して取り組んでいく。	・市の財政により、ハード面の整備してほしい。ソフト面はよい。 ・工夫されており、地域の方々だけでなくいろいろな人に学校を見てほしい。
職場環境	残業時間の縮減	・縮減に努めた割合が50%であった。また、仕事量が多すぎたという結果に繋がらないという記述もあった。閉門時刻を30分延ばしたことで、職員が意欲が通じられ、気持ちよく働きやすくなったように見えた。	C	・指導案検討など研究に関わる部分では、効率化を図られた。継続していきたくは、仕事量についてはいくつかの削減する必要がある。具体的な方策が必要である。	・職員の残業時間が多く大変であると分かる。 ・年間のデータを基に検討する必要がある。残業時間が多い。 ・努力しているようであるがこれからも縮減を望む ・改善しようとする気運が出ている。行動を起こす大切さを感じる。
	会議時間の縮減	・会議時間延長を避けるために、学年主任を入れたミーティングの時間を短縮した。また、学年主任の会議が増えた。	C	・事前に資料を準備し、読み取り時間を短縮し、100%の時間を有効に活用する。また、会議の前後に学年主任と各部長で相談し、意見を反映させる。	・今年度、インフルエンザ対応等で増加したと思われる。 ・努力がこれからも縮減を望む。